

OSAKA・II ZONTA CLUB

大阪Ⅱゾンタクラブ第48号(2019年9月)



巻頭言

会長 内藤 恵子



新年号令和が始まり、日本中が祝賀ムードです。ZONTAも来年100周年の世界大会が本部のあるシカゴで開催されます。世界中のZONTIANが、仲良く手を取り合って、女性のempowermentの為に活動しています。意義のある活動をしているZONTAの一員であることの誇りを感じ、小さな活動でも積み重なれば大きな力となると、信じて行動しましょう。大阪Ⅱは、現在仲良くまとまっていますが、新しいメンバーがありません。是非、メンバー獲得に努力して下さい。



2019年2月上田ADとともに



2019年2月チャリティーイベントにて

午前の部

笠置 伸子



2019年5月11日(土) 11:00～16:30まで、和歌山マリーナシティホテルで上田恵子ADの主催で、和歌山ゾンタがホストクラブを努め、150名のゾンシャンが出席してエリアミーティングが行われた。

テーマは「リーダーシップに求められる視点」です。

11時から上田ADの点鐘に始まり物故者黙禱をした。何時の頃かはっきりと覚えていませんが、以前はクラブ名と物故者のお名前を読み上げていたと思います。今はどなたがお亡くなりになったのか、よく分からないまま複雑な気持ちで黙禱をしました。もし何も差し支えなければ、以前のように物故者を読み上げていただくか、プロジェクターで名前を映して欲しいと思います。

上田ADの挨拶は時間がないので省略して、岡澤則子副ガバナーが来賓挨拶し、続いて国際ゾンタ財団発展委員会委員三宅定子様、国際26地区理事会副ガバナー岡澤則子様、エリア1エリアデレクター水野幸子様、国際ゾンタ26地区委員会指名委員神田加津代様、三田恵美子様、バイローズ委員長西川ひろこ様、100周年記念事業委員長上田トクエ様、財団大使榎本和様、ヒストリアン真鍋洋子様、JMK奨学金委員長羽藤成代様、リーダーシップ開発委員長安田俱子様、奉仕委員長三輪和代様、WEBマスター佐藤智美様、YWPA奨学金委員長佐佐木アユ美様、来賓及びゾンタ役員・委員長紹介が行われた。

引き続き上田ADによるビジネスセッションが執り行われ、*出席者報告、*資料確認、*2018年度活動報告、*エリア3エリア費中間報告のあと点鐘が鳴らされ終了した。

田中征子和歌山ゾンタホストクラブ会長の挨拶のあとクラブ紹介が行われ、その後今年初めての新入会員紹介があった。11名の新入会員があり、出席席者10名が壇上に上がり、一人一人自己紹介をした。とても有意義でよい企画で、新入会員も歓迎されていることがよくわかり改めてゾンタの会員になったことにプライドを持ったことと思います。これをするために時間がないので上田ADの挨拶が省略されたことがこの時に分かった。

次期開催クラブの挨拶は天津ゾンタクラブで、楽しい歌あり踊りで芸達者なクラブで大いに期待しております。

第12回エリアミーティングは2020年5月23日(土)ウェスティン都ホテル京都で行われ、上田AD主催でホストクラブは天津ゾンタクラブです。

ホストクラブの和歌山ゾンタクラブの皆様、盛況なエリアミーティングをして頂きましてありがとうございました。

記念講演「イギリスにおける町づくりのリーダーシップ」

牛田 三千子



今年度のエリア3エリアミーティングのテーマに上げられたのは「リーダーシップの求められる視点」です。このテーマに沿って記念講演の演者として登壇されたのは、和歌山大学の足立基浩副学長。イギリスのロンドン大学やケンブリッジ大学で学ばれた経験から、イギリスの歴史の中でリーダーシップをとり国の前進を促した3人を取り上げ、そのリーダーとしての姿勢についてお話下さいました。

リーダーシップとはスキルであり、リーダーとは「他者を正しい方向に進ませる人」と定義されます。その条件は「粘り強さ」「情熱」「正直誠実」の資質を有する人とされます。

最初に取り上げられたのは、エリザベスI世(在位1558年～1603年)です。当時フランスやスペインに比べ二流国であったイギリスを、スペイン無敵艦隊をも破る強国に築き上げたことで知られています。海賊であったキャプテンドレイクの能力を高く買うなど、身分や常識を超えた登用をし、当時最強といわれたスペインを破りました。

また、「救貧法」を制定するなど、社会福祉にも力を入れ弱者の救済を積極的に行いました。粘り強く情熱を傾けた40年を超える長い治世の間にイギリスの繁栄の基礎を築き上げました。

次に取り上げられたのはマーガレットサッチャー元首相で、その強い個性とリーダーシップからIron Ladyと呼ばれたことは私たちも知るところです。保守党の初の女性党首であり、長らく「英国病」と

呼ばれる、社会保障費の増加や国民の勤労意欲の低下などの問題に大胆なメスを入れました。その結果1980年代にイギリスは福祉国家から自立国家へと大きく変身しました。彼女の演説の中に「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」という言葉があります。

サッチャーの業績には功罪はあるものの、その強い情熱で停滞していたイギリス社会を再生させたことは異論のないところです。

最後に取り上げられたのは、直近のイギリスのメイ首相です。イギリスは現在ブレグジット問題で混乱の中にあり、その中心にいるのがIce Queenと呼ばれるメイ首相です。しかしEUとイギリス国内との板挟みとなり、求心力の低下のため辞任を余儀なくされ、近く新しい首相が選ばれることとなります。

多くの利害や主張の調整を、ときには柔軟に、しかしなれ合いを嫌うIce Queenとして懸命に取り組んできたメイ首相の評価はもう少し先になると思いますが、優しい夫君の支えのもとに奮闘している姿にはしなやかな中にも力強い人格がうかがえます。

私たちゾンタクラブのメンバーの大部分が女性であることに鑑みてリーダーに3人とも女性を取り上げられたのか、その辺りは分かりませんがこの3人の女性リーダーは、強いだけでなく粘り強さ、情熱、正直誠実のすべてを合わせ持った女性であるといえます。私たちゾンシャンもこのイギリスの先駆者に学び、少しでも近づけるよう努力しなくてはと感じた講演でした。

ワークショップ1とワークショップ2

久岡 眞佐代



2018年度のエリアミーティングのワークショップは、4エリア共通のリーダーシップに関するトレーニングとしてゾンタの基本と会議のルールを学ぶという有意義な勉強会となりました。

- ・ワークショップ1 リーダーシップ開発
「ZONTAを理解し誰もがリーダーに」
ゾンタについてー基本的なことー
リーダーシップ開発委員長 安田俱子氏
- ・ワークショップ2 ロバート法を学ぶ
副ガバナー 岡澤則子氏

ワークショップ1では、ゾンタの組織、クラブ運営等の基本について学び、誰もがリーダーになるためには「ゾンタは私に何をしてくれるかでなく、私はゾンタに何ができるか」、「地域社会において会員はゾンタの公的象徴である（クラブマニュアルp.8）」という意識を持つことが重要であると再認識させられました。

ワークショップ2では、ゾンタの会議のルールである「ロバート法」（1876年に技術系士官のヘンリー・マーティン・ロバート氏が考案）について学び、各グループに分かれて議事進行に関するロールプレイを実施しました。

団体・組織で物事を決めるには合意形成が必要であり、会議で決める必要のある「審議事項」を限られた時間の中で効率よく公正に議論をし、メンバーの総意をまとめるためには話し合いのルール「ロバート法」が必要です。

動議（審議事項）の提出と議事進行は次のとおりです。

- ・動議：会議で決めてもらいたいことを提案
- ・セカンド：動議提出されたときに、その動議を取り上げることを支持（セカンド）する人が1人必要。セカンドする者がなければ動議は却下（むやみに動議が出されて審議が混乱するのを防ぐため）。
- ・議長による動議内容確認：セカンドされた動議の内容を議長が確認し何が審議の対象かをはっきりさせる。
- ・動議の討論：動議の内容を討論
- ・採択手続：動議について採択→可決又は否決

議案（原案）の内容を修正して採決を行うべきと考えれば議事の最中に議案を修正するための修正動議の提出を行います。議事進行は次のとおりです。

原案→討論→修正動議提出→セカンド→議長による修正動議内容確認→修正動議の討論→修正動議の採択手続→修正動議可決又は修正動議否決→原案に戻る

動議の提出は議事の進行状況に応じて様々なものがあり、それに応じてセカンドの要否、討論できるかどうか、決議要件などが細かく定められています（議案の優先順位）。

チャリティーコンサートVol.24 黄色いバラのコンサート

辻 康子



2019年2月3日午前11時からリーガロイヤルホテル 桂の間においてピアノ、バイオリン、ソプラノによるコンサートが開催されました。各会員が2～3人ずつゲストを誘い、岡澤副ガバナー、上田エリアディレクター、澤井前エリアディレクターはじめ近隣クラブからのゲストをお迎えして総勢95名のご参加をいただきました。

第1部は中村太紀さんによるピアノ独奏、ムソルグスキー「展覧会の絵」。19世紀後半ガルトマンの遺作展を見てムソルグスキーが10枚の絵の印象を作曲。当日参加者全員に配られた絵のコピーを手にして中村太紀さんが曲の説明をしてくださいました。耳慣れたプロムナードはムソルグスキー自身が展覧会場で絵と絵の間を歩く姿を表現していて、「古城」「ビドロ」「キエフの門」など10曲からなるこの組曲は覚えやすいメロディーと趣の異なる曲で構成されていて絵を見ながらとても興味深くピアノ演奏を楽しむことができました。

第2部、まずは坂 茉莉江さんのバイオリン演奏です。ドビュッシー「亜麻色の髪の乙女」、バルトーク「ルーマニア民族舞曲」を繊細で清澄、かつ力強いサウンドでそれぞれの曲を演奏してくださいました。最後はソプラノ、バイオリン、ピアノによる三重奏でした。ソプラノの河村さと子さんは大阪IIゾントクラブの元メンバーです。カッチーニ「アベマリア」、メンデルスゾーン「歌の翼に」など親しみのある曲を声量のある美しい声でご披露くださいました。アットホームな雰囲気の中で河村さと子さんが個性豊かなエンターテイナーぶりで会場を魅了、お客様全体が盛り上がり大層喜んでくださいました。

その後、リーガロイヤルホテル総料理長の心づくしの食事になりました。コンサートの余韻に浸りながら目にも舌にも大満足の春らしいお料理を楽しみました。会場では大阪IIゾントクラブが支援を続けているベトナム、ベンチエの刺繍の額を展示し、私達の活動の一環を見ていただける貴重な機会でもありました。



ゾントローズデーにちなんで

西村 博子



毎年3月8日はゾントローズデー。国連女性デーにあわせて、ゾンタでは男女共生社会、ZISVAWの啓発が活発に行なわれています。2月例会は上田恵子エリアディレクターをクラブ訪問でお迎えし、ローズデーにちなんだお話を拝聴いたしました。

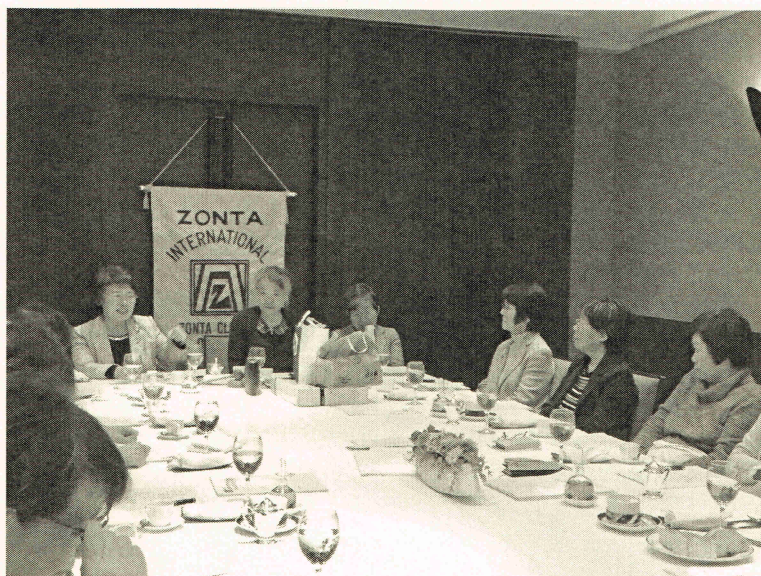
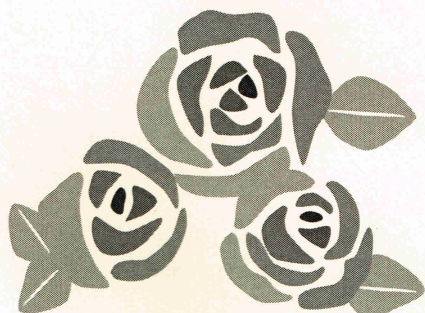
はじめに自己紹介。故徳光、故佐々木両会員のご紹介で、1965年日本で2番目に誕生した大阪Iクラブに1970年入会されて活動歴50年。その間、母親の体調不良で活動に参加できなかった7～8年の時期を乗り越えられて、その後、クラブ役員、会長、地区の役員などを歴任され、今年度よりADに就任されています。入会時に「30年後のゾンシャン育成」という先輩ゾンシャンのお言葉どおり、現在はADとして東奔西走の日々を過ごされています。役員になると責任や自覚も増し、ゾンタの在り方を勉強してゾンタが好きになり楽しくなったと話されました。ご自身飾らない性格で、仕事もずっと続けながら今日に至っているとのことでした。

1993年大阪IをSOMクラブとして、私たち大阪IIは誕生しました。隔年の新年合同例会、チャリティイベントなどでも親しく交流を続けています。

ゾントローズデーは、1904年にアメリカ、1910年にはドイツでも始まりましたが、1975年3月8日に国連は「国際女性デー (International Women's Day)」を定め、女性が平等に社会に参画できるよう、加盟国に対し呼びかけました。ゾンタでは、女性の活動とその功績をたたえ、女性のチャレンジを促すことを目標とした活動を行っています。黄色いバラは国際ゾンタの活動のシンボルです。1984年シドニー国際大会で、ゾンタのカラーはマホガニーと金、シンボルは黄色いバラと認証されました。

日本の各クラブは、講演会、チャリティコンサート、各施設訪問、駅前で黄色いバラの配布などをして、女性の更なる活躍のための啓発活動キャンペーンを積極的に展開していることをお話しされ、最後に5月のエリアミーティングのプログラム紹介がありました。

私たちのクラブでも、このゾントローズデーにちなんだ有意義なキャンペーンを展開していくことが、切に望まれています。



きららの木

中塚 淳子



特定非営利活動法人「きららの木」 住所 奈良県三碓町 2250-11

法人の歩み

2009年2月に設立。同年7月に法人格取得。2011年5月に児童デイサービス、リーフ開設。2012年3月に生活介護事業、きららの木いろ葉開設。2012年10月に行動援護事業・移動支援事業、スマイルライフ・きららの木開設。周年に地域保健福祉活動振興事業、子育てサークルぶらんこ開設。2013年4月に児童発達支援たのしい開設。放課後等デイサービスたのしい開設。2013年10月に特定相談支援事業、障害児相談支援事業相談支援センター、きららの木きらきら開設。2014年5月に居宅介護事業、スマイルライフきららの木開設。2015年3月に生活介護事業、華で厳る開設。2017年9月に奈良県から奈良県福祉「介護事業所認証制度」の認証事業所としての認証を受ける。

「きららの木」の理念

「一人ひとりを人として大切に、健康な心と体、支え愛う豊かな心、地域の人達と共に、笑顔を大切にし、人が集い、人がつながれる場をめざして歩む事」

きららの木の理事長でおられる江川美奈子さんは、御主人、長男、長女の四人家族で円満な御家庭を築かれております。2016年6月に内閣府男女協同参画局「女性のチャレンジ賞」を受賞されており、障害福祉サービス事業と地域交流推進事業を拡充されて来ました。

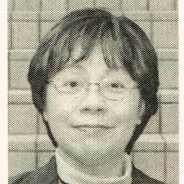
「全ての人々が、一人ひとりを人として大切にされる社会を夢見て生きて参りました」と言われる言葉の重さ、夢の一つ一つを現実にされていかれた結果の受賞だったと思います。

まだまだお若くていらっしゃる理事長さんの今後に期待するものであります。以前にゾンタの愉快的音楽隊の皆様と銭太鼓とハンドベルをひっさげて奉仕にお伺い致しましたが、その時の江川理事長さんをはじめ、スタッフの方々、そして何らかの障害を持つ子供さん達の輝く目、まっすぐな心、私達を精一杯迎えて下さったあたたかい心を感じさせていただき涙が出て参ったことを思い出します。けがれの無いまっすぐな心を持つこの子供さん達に「幸あれ!!」と真に思いました。ゾンタの支援先として「きららの木」を推して下さったことに感謝申し上げます。

移動例会

大阪市立大学理学部附属植物園見学と講話

坂本 千代



2019年4月14日(日)、小雨のなか春の移動例会が開催されました。今回は「落花の雪に踏み迷う、交野(かたの)の春の桜狩り」と『太平記』で語られた交野市です。参加者は尼木・牛田・笠置・坂本・笹岡・辻・内藤・中田・中塚・西村・幡山・堀・宮本・芳川の14名。京阪電車淀屋橋駅西改札口に集合して10:40発の特急で枚方まで行き、駅の近くの大垣内和魂(おおがいとわこん)という日本料理店の「花びらお弁当」をいただきました。上品でおいしいランチをゆっくり食べてから枚方駅に戻り、交野線で15分ほどで私市(きさいち)に到着です。植物園は駅から10分ほどのところにありました。

13:30から約1時間半、植物園の職員の方がガイドをしてくださって園内を見学しました。園内のほとんどすべての木に名札があって非常にわかりやすかったです。植物園の元園長三木博士が1941年に化石植物として発見し、その後中国で生存個体が発見され、苗木が1950年に日本にやってきたメタセコイヤの群れなどを見たあと、日本産樹木見本園に向かいました。そこでは日本に自生している樹木が常緑広葉樹、落葉広葉樹、針葉樹の順番に植えられていました。そのあとはサクラ山へ。めずらしい薄緑色の桜などが美しく咲いているのを見ることができました。

15:00から16:20まで研究棟で大阪市立大学大学院理学研究科の植松千代美准教授の講話を拝聴しました。1941年、大阪市の興亜拓殖訓練道場がこの地に置かれたこと、1950年に大阪市立大の植物園となったことなどが語られました。その時、どのような植物園をめざすかの模索後に「森の植物園」という方針が決まったこと、植物園・研究施設としての設備が整っていないなか、赴任直後の植松先生たちが苦勞して環境を整えていったことなどが、写真をまじえて説明されました。そして、植物園がうまく軌道に乗って安定した活動をしていた時に、財政的な理由によって植物園廃園の議論が起こりました。「都市と森の共生をめざす」この植物園の特性、絶滅危惧種の昆虫などの発見、そして財政問題が解決したことでやっと園の存続が決まったそうです。植松先生のお話はたいへんおもしろくてあっという間に80分がたっていました。

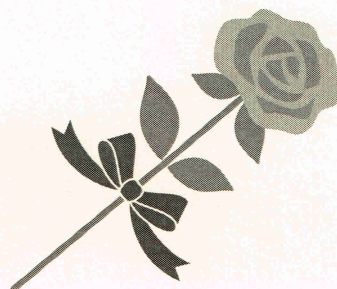
相変わらずの小雨のなか、来た時とは違う目で植物園を見ながら帰途につきました。



2018年度の活動

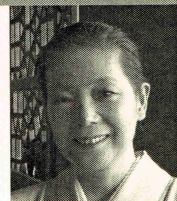
例会日：毎月 第2木曜日 18時～
4月・11月移動例会

月	日	曜	例会場所	事業内容	委員会活動その他
2018					
6	14	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	2018年度活動計画審議 エリアミーティングの反省会	各委員会 昨年度活動報告 各委員会構成メンバーについて 6/29(金)～7/3(火) 世界大会(横浜)(16名参加)
7	12	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	前年度決算報告及び今年度予算案審議 世界大会を終えて 卓話・イベントの検討	各委員会 今年度活動計画
8	4	土	中津	納涼会 淀川花火大会(13名参加)	
9	13	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	卓話「童謡生誕100周年に寄せて」 講師 萩原謠子様	広報誌46号発行
10	11	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	卓話「衣服と人間の関係」 講師 坂本千代会員	
11	3~4	土日	移動例会	山中湖(7名参加)	
12	8	土	忘年会	北浜フランス料理(ラベティ・ロアブッシュ) (19名参加)	12/7(金) 奉仕委員会施設訪問(水上隣保館・ 山崎保育園)(10名参加)
2019					
1	17	木	新年会(大阪Iと合同) 花外楼(北浜本店)	卓話「乳癌の下着の話」 講師 中村真由美様(アボワールインターナショナル(株))(16名参加)	
2	14	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	上田恵子ADクラブ訪問 卓話「ローズデーに向けて」	2/3(日) チャリティーイベント(リーガロイヤルホテル) 「黄色いバラのコンサート」 ～ピアノ、ヴァイオリン、ソプラノによる～(94名参加)
3	14	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	チャリティーイベントの反省会・収支報告	3/8 ゾンタローズデー 3/12～21 ゾンタ国連視察団に参加 (2名参加)
4	14	日	移動例会	大阪市立大学理学部付属植物園(交野市私市) (14名参加)	広報誌47号発行
5	9	木	リーガロイヤルホテル ベラコスタ	1年間の活動報告、次年度に向けて 国連視察報告	エリア3 エリアミーティング 和歌山ゾンタクラブ 5/11(土) 各委員会活動報告(9名参加)



「西郷どん」に思う

徳光 正子



(以下のエッセイは前号に載せる予定でしたが、諸事情により今回の掲載となりました。)

平成 30 年は維新 150 年ということで、「西郷どん特別展」が全国で開催されました。

大阪歴史博物館では、当社の「大阪会議の由来」(伊藤博文筆)の巻物と明治時代の花外楼の模型が展示されて、立派な図録にも掲載されました。西郷隆盛の資料は、意外にも多くないようで芸員の先生も大阪では、真っ先に花外楼が浮かんだとの事でございました。愛加奈さんへの家族を想う手紙や、篤姫のご婚礼の衣装やら、周辺の資料も集められて楽しい展示となり、招待日には、久光役の青木崇高さんもテープカットに来場され花を添えて下さいました。

大河ドラマファンの私も、佳境に入った後編部では、思わず涙がこぼれるシーンもあり、それぞれの配役の味わいもさることながら、西郷と大久保の運命の対決の中に流れる熱い思いを演じるお二人に感動を覚えました。近代の歴史は、学生時代にも詳しくは学ばなかった為か、知っているようで知らないことがあります。歴史本で読んだことが、ドラマでビジュアルとなって甦ってきて、勿論ドラマは歴史そのものでないけれど、明治維新という時代、全く世の中が変わってしまう時代において日本の行く末を命をかけて貫こうとした生き方は熱く伝わってきました。鹿児島では神社で祀る程、西郷さんは特別な存在ですが、片や西郷をテロリストと嫌う人たちもあるそうです。しかし、両者に共通していることが一つあって、それは彼には私心がないという点だと言うのです。月照一人死なせる訳にゆかず入水自殺を図る「あの西郷が」と理解に苦しむところではありますが、武士というより他者の悲しみを自らの哀しみとした情の深さ、優しさが人生の求道者としての西郷を物語っているのかも知れません。司馬遼太郎氏でさえ「自分には西郷がわからなかった」と告白しています。「敬天愛人」の西郷。南州翁遺訓には「命もいらぬ名もいらぬ、官位も金もいらぬ人は仕末に困るもの也、此の仕末に困る人ならでは、艱難を共にして国家の大業は成し得られぬなり。」と残しています。現代にも含蓄のある言葉です。

平成・令和へのメッセージ

- 尼木純子：平成は、あっという間に過ぎさった様に感じられますが、令和は、あらたな時代の幕開けとして毎日をしっかりと味わいながら過ごしたいと思います。
- 牛田三千子：昭和、平成、令和を過ごしてきました。70才を超えましたが、令和が一番幸せな時代になるような予感がしています。あと〇〇年、大いに楽しめます!!
- 笠置伸子：平成はとても楽しいイベントとか盛り沢山で良かったです。令和は、国際ゾントのテーマに沿った勉強が出来たらと思います。
- 坂本千代：もうすぐ定年。その後をいかに充実した生活にするか、メンバーの皆さんに教えていただきながら準備したいです。
- 笹岡厚子：明るいわ祝いムード、行事に満ちてスタートした令和の年月が、それにふさわしい時代となります様に祈ります。
- 清水聖保：穏やかな年が人の心を癒し、発展できたらと思って過ごしています。
- 辻康子：2018年5月、エリアミーティングのホストクラブを中堅クラブとして立派に務めることが出来ました。又、横浜世界大会で貴重な経験も積み、大きな行事のある平成最後の年でした。私たちが成長できたように思います。(?)
- 田中茂美：“元年”です。心身新たに人生再スタートの年です。人生100年時代とか。青春再びの気概で日々を送りたいです。
- 徳光正子：ゾントクラブに復帰して早や1年。私にとっても節目の年。これからは少しゆとりをもって楽しみたいと思います。
- 内藤恵子：新しい年度に入り、0歳になったつもりで、再スタートします。
- 中田智恵海：令和の始まりに当たって；良い経験が沢山できますように。平和で静かな時代でありますように。
- 中塚淳子：平成の30年間は年代的にも多方面で活動していたように思います。令和に入り精一杯やり切った感で、これからはゆっくり楽しみながらゾント活動を続けたいと思っています。
- 中川友里：平成は明治以降で外国と戦争をしなかった初めての元号です。令和も続くことを祈るばかりです。
- 西村博子：大阪Ⅱの30周年を迎えられるよう、元気に奉仕活動を続けていきたいと思っています。
- 幡山玲子：令和が、平成に引き続き、日本が戦争に巻き込まれない平和な時代でありますように。そして世界の全ての女性の人権が守られ、女性が自らの生を全うできる社会が到来するよう、ゾントの一員としてささやかながらお手伝いしていくことができると願っています。
- 久岡眞佐代：平成は子育てと親の介護に追われる毎日でしたが、令和は1日でも長く孫の成長を見守っていけるよう、我が身のメンテナンスに励みたいと思います。
- 堀知子：平成の30年間は戦争は無かったのですが、自然災害が多かったようです。令和の時代も戦争の無い時代にできれば、自然災害も起こらないように祈願します。
- 三林京子：令和時代の子供達に食べさせる食事を見直してはいかがでしょうか？薬品の入っていない本物の食事を。工場で作る物だけを食べて育てている子供たちが増えているそうです。
- 宮本典子：みんな仲良くやりましょう
- 芳川た江子：平成は災害の多い年でしたので、令和は災害も少なく平和な時代になることを願っています。

編集後記

慣れない作業にはじめて取り組みました。皆様には、すみやかに対応協力して頂き感謝します。楽しんで読んでいただけただけなら嬉しいです。

徳光 正子